

みなさんのご意見コーナー

当院では、患者様のよりよい医療環境づくりをめざして、患者様やご来院の方からご意見を伺い、それらへの対応を公表しています。当院では、ご意見への対応・公表は、皆様方との信頼関係を築く上で、大変重要なことと考えていますが、個人中傷的なご意見も多く、その取扱いに苦慮しています。

今後、ご意見をいただくときは、具体的に、建設的なご意見をお願いします。

(できれば名前もご記入ください。)

みなさんのご意見への回答（平成18年7～9月分から）

○受付の人は、大きな声で笑い、話をしている、感じが悪い。

●不愉快な思いをさせ、大変申し訳ありません。委託会社においても、接遇マナーに対する取り組みとして、全スタッフで身だしなみ・電話対応・接遇態度等33項目に渡り、5段階方式で評価し、常に接遇に対し、向上心を持つよう指導を行っています。

○看護師のみなさんにお願いがあります。看護師の名前が分らないのです。名札を付けているようなのですが、腰のところに付けていたりで分りにくいのです。名前を呼びたいので、もっとわかりやすい場所に付けてもらえないでしょうか。

●貴重なご意見ありがとうございました。ご指摘のとおり名札を分かり易い場所に付けるよう指導いたします。また、ケアの前や朝の挨拶時には自己紹介してから始めるよう基本に戻って接するよういたします。

○患者さんの部屋の番号をどうしてナースステーションでは教えてもらえないのですか。上まで上がって、また1階の窓口まで下りるのは大変です。

●平成17年4月1日から個人情報保護法が全面施行になり、当院ではこれまで以上に患者様の個人情報の取扱いについて、慎重に対応しているところです。このため、あらかじめ入院される患者様から面会の可否について確認を取っています。しかし、今回の場合は、患者様も面会を了承されているように思われます。このような場合は、状況をよく判断して適切に対応するよう指導しておりますので、当該病棟の職員によくご相談されるようお願いいたします。

○タバコの煙を何とかしてください。ここは病院でしょう。

●喫煙が健康に及ぼす影響を考慮して、施設全体を禁煙にする病院や公共施設が増えています。今後、当院においても館内の禁煙の是非について検討していくことにしています。

□ご意見箱に寄せられましたご意見等は、ご意見の内容と対応について、当院のホームページに掲載するとともに、院内1階のエントランスホールと東玄関入口に掲示していますのでご覧ください。

[Back](#) [contents](#) [next](#)

ためになる話

～No.3～

“防災について”

台風13号の延岡・日南での竜巻、近年の地震や風水害などの自然災害は、いつどこで起きるか分からないという事実を改めて突きつけられています。普段の暮らしのから災害に備えておく事が大切とされています。いざというとき冷静に行動できるように、今回は「防災について」準備や訓練などについてお知らせします。

1. 持ち出し品チェックリスト

■最低限用意しておきたいもの

- 身分証明書や家族の写真
- 救急セット
(ハサミ、ばんそうこう、脱脂綿、消毒液など)
- 飲料水・非常食・缶詰
- 現金や貴重品 (通帳・はんこなど)
- マッチまたはライター・ろうそく・懐中電灯
- ラジオ
- ヘルメット
- 電池・充電器・携帯電話の予備バッテリーなど
- 多機能ナイフ
- 軍手または手袋
- ノート・筆記用具
- 10円玉 (公衆電話用)
- 衣類・防寒着・タオル・歯磨きセット

避難 (慌てず指定の避難場所へ)

- 家から外に出る時こそ、最も危険！！
ヘルメットをかぶり落下物に注意する
- エレベーターは使用しない
- なるべく家族や近所の人とそろって避難所に向かう
- 避難場所へは二次災害を避けるため車やオートバイは絶対に使用しない
- 年配者や子どもは手をしっかり引いていく
- 家族が別々になったとき連絡が取れるよう日頃から話し合っておくとよいでしょう
- 県外の親戚や友人など緊急の連絡先を決めておくとういでしょう

■役立つ物

- 新聞紙
- ラップ
- スリッパ・スニーカー
- ビニールシート・ポリ袋
- 笛 (助けを呼ぶため)

- ビタミンCのアメ（ストレスを緩和）
- マスク
- 予備の眼鏡・使い捨てコンタクト

■年配者などで用意しておきたい物

- 予備の眼鏡
- 常備薬
- タオル

■女性が用意しておきたい物

- 生理用品
- 身だしなみセット
- 水がいないシャンプー

■子供に用意しておきたい物

- 縫いぐるみなどの子どもの愛用品
- おんぶひも
- トランプなどの玩具
- ミルクやおむつ（乳幼児の場合）

[Back](#) [contents](#) [next](#)

医療連携コーナー

『医療連携科では医療介護従事者のための各研修会を行なっています』

医療連携科は、院内外の連携の推進をはかり、南那珂の住民の皆さまにより適切な医療を提供すべく活動しています。今回は連携科の活動の大きな柱の一つである研修会活動について紹介します。

医療連携科は「地域医療機関全体の水準アップ」をビジョンのひとつにかかげています。病院、診療所、介護施設などがそれぞれの役割を果たしつつ連携して患者さんの治療介護をおこなっていくためには、それぞれの施設で働くスタッフの質が一定水準に担保されることが必要です。そのためには当院のような地域の中核病院が中心となって研修会や勉強会を開き、医療スタッフの皆さんへ新しい知識や再教育の場を提供することが大切だと考えています。そのような考えに基づき、連携科では下記のような院外向けの勉強会・研修会の開催や運営協力を行なっています。

- 「県立日南病院連携セミナー」
：年3～4回開催。「褥創」「リスクマネジメント」「胃瘻」などのテーマを設けての研修会です。毎回100名前後の参加をいただいております。
- 「衛星遠隔研修実践（看護ケア）講座」
：月1回開催。接遇や各種看護技術などについて、CS放送を受信して研修を行ないます。
- 「スマイル会」
：南那珂透析室勤務の看護師対象の勉強会。年2回行なっています。
- 「南那珂リスクマネージャー研究会」
：病院等のリスクマネージャーが集まったの研修会。グループワークなどを通して病院の医療安全文化の向上に努めています。
- 「南那珂栄養連携勉強会」
：管理栄養士さん等が主な対象。食も大切な治療の一環としてとらえ、患者さんの適切な栄養管理を考えていく勉強会です。

その他、「緩和ケア講演会」、「オストメイト交流会」など、院内で開催される講演会等で地域の医療スタッフが参加しても構わないものについても、随時ご案内しています。

地域の医療介護機関にお勤めのスタッフの皆様、ぜひとも各種勉強会や研修会にご参加いただき、多くのことを学んで下さい。

現在は患者さんや一般住民向けの勉強会などはまだ開催しておりませんが、今後はそういった機会も設けていくつもりです。このような取り組みを通して、南那珂の医療文化の向上のお手伝いをさせていただきたいと考えております。

(医療連携科 木佐貴 篤)

[Back](#) [contents](#) [next](#)

看護部トピックス

看護部コーナー第2回。今回は感染症委員とME室です。

ME室の紹介

日南病院には、H15年より2名の男性臨床工学技士が在籍しています。場所は3階の手術室の奥で、心臓カテーテル検査室の前にあります。

臨床工学士とは医療機器の専門医療職です。医師、看護師などとチームを組んで生命維持管理装置の操作を行います。また、医療機器が何時でも安心して使用できるように保守・点検を行い安全性の確保と有効性の維持に貢献しています。

当院ME室の業務内容は、保守点検業務が主となっており昨年1年間の実績として、点検機種22機種・点検台数414台でした。

今後、さらなる業務の拡大・点検対象機器の増加を目指し頑張っていきたいと思います。

看護部の感染症委員会の紹介

私たちは看護業務を兼務しながら患者様が安全に早期退院出来る様、感染予防への活動を行っています。グリーツタパグ（手洗いを評価する為の器具）を使用した手洗い指導や、感染対策チームメンバーとしてMRSAの感染予防を目的に病棟をまわり、更にゴミの適正な分別への取り組み等を行っています。

手洗いに関しては接触感染による院内感染の予防を目的に、看護職をはじめ看護補助員・清掃業者等を対象に『正しい手洗い方法』の指導を実施しています。

毎年病院際には『手洗いコーナー』として、自分の手洗いがどの程度できているか評価すると、笑いや驚き・・・そして「今後気を付けないと・・・」等の反応があり好評です。また成果を院内学習会や学会でも発表を行なっています。これからも活動の範囲を少しずつ広げていこうと思っています。

[Back](#) [contents](#) [next](#)

皮膚科・形成外科の紹介

H18年7月から皮膚科に加えて新しく形成外科が併設となりましたので、紹介します。

手術に関しては、**【皮膚科】**では今迄通りホクロやイボなどの小腫瘍切除から皮膚ガンなど悪性腫瘍・とこずれ（褥創）や皮膚の植皮術なども行なっています。また大やけど等熱傷センターとしても対応できます。

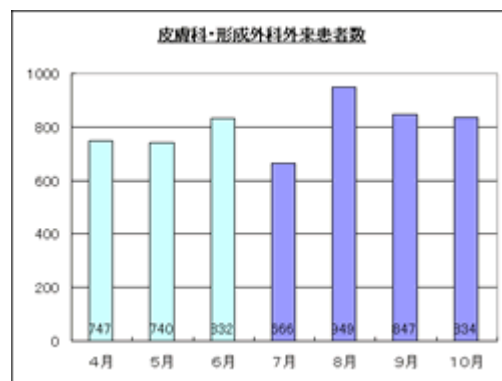
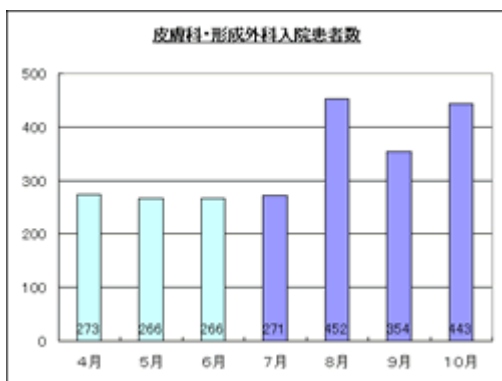
【形成外科】は、さらにより質の高い手術ができ、脇の下の臭い（液臭症）や爪の障害（巻き爪や嵌入爪）から、難しい手術も対応できるのが特徴です。「どうかな？」と悩んでいる方は、診察しなければわかりませんので、一度受診をして下さい。

外来に関しては、予約時間を意識し診察していますが、処置に時間がかかることが多いため、特に初診時の待ち時間が特に長くなることがあります。

外来には、本やテレビを設置していますが、希望の方にポケベルを渡し、順番になりましたらお呼びしていますので、希望の方は受付に申し出下さい。

【編集委員からのお知らせ】

下記のグラフのとおり、患者数が徐々に増えていることがわかります。ゆっくり昼ごはんを食べる時間もない様子でした。



[Back](#) [contents](#) [next](#)

院内トピックス

☆ 飢肥中学生が職場体験研修

9月27日（水）事業所や職場において働く体験を通して、働くことの意義職業に対する自己の意識を高め、今後の学校生活において、しっかりとした「職業観」や「勤労観」を持って意欲的に学習できるようにすること等をねらいとして、飢肥中学校3年生の生徒さんが当院で研修を行いました。

当院では、毎年、県立看護大学や日南学園看護専攻科・日南看護専門学校等の看護学生、その他大学の薬学部の学生、行政機関からは日南市消防署の救急救命士などたくさんの研修生を受け入れていますが、中学生の職場体験研修は当院としても初めての経験。研修の内容は、患者さんの車いすを押して貰うことや昼食の配膳業務の手伝いなどでしたが、「大変勉強になり、良い体験をさせていただきました。」と反省会での感想。「無事に終わってほっとしました。」とは、担当した柿塚副総看護師長。

☆ 子どもスケッチ大会

10月5日（木）第4回県立日南病院子どもスケッチ大会を実施しました。

今回の参加者は、日南市立桜ヶ丘小学校の5・6年生。優秀作品を11月24日（金）から1ヶ月院内に展示します。素晴らしい作品を期待しています。（表紙はスケッチ大会の様子）

◇ 外来ボランティアを募集しています ◇

1. 業務の内容

毎週月～金曜日の午前9時から正午まで受診手続きの案内や病院内の案内、書類の代筆、身体の不自由な方への介助、診療中や書類作成中の子どもさんや荷物の一時預かりです。

2. 申込方法

直接ご来院いただくか、電話又はハガキに住所、氏名、電話番号を記入してお申し込みください。

3. 問合せ先

〒887-0013 日南市木山1丁目9番5号

県立日南病院 医療相談室担当 大坪

TEL0987-23-3111 FAX0987-23-5142

[Back](#) [contents](#)

宮崎県病院事業中間経営計画のスタートにあたって

院長 脇坂 信一郎

昨年6月に「宮崎県立病院の今後のあり方について」の基本方針が策定されました。これを受けて本年4月に宮崎県病院事業に対して地方公営企業法規定の全部適用が実施され、病院局が発足して病院事業管理者（病院局長）の指導の下に県立病院の経営改善に取り組むことになりました。そしてこの8月末には「あり方」の基本方針を踏まえて、平成22年度までの5年間を目途とし、具体的な指標や年次毎の数値目標を掲げた頭書の中期経営計画を策定いたしました。この計画の進捗状況は半期毎に外部有識者を含む評価委員会によって評価され、5年後には相応しい経営形態（全摘の継続、地方独立行政法人化、公設民営化、民間移譲）を選択することになります。

とりわけ日南病院はこれまでの累積欠損金額、単年度の欠損金額が大きい上に、収益を生むべき医療スタッフの充足率が悪く、これに南那珂医療圏の少子高齢化・人口減少や診療報酬のマイナス改訂等が絡まり、他院に比べ最も周囲の状況が厳しい中で最も経営の健全化が求められています。病院局の中期経営計画の視点と戦略目標を中心に、これに日南病院独自の肉付けをして、より具体的な目標を掲げた行動指針を策定すべく、「日南病院中期経営計画アクションプラン」の検討を始めました。経営改善の目標達成には職員一人一人が経営感覚を持ち、職員が一丸となってこれに取り組む必要があります。院内の各セクション毎に論議を重ね、ボトムアップ的にアイデアを結集して欲しいものと思います。「あり方」の検討のために、数年前に院内に巻き起こった「熱い論議」を今回も再現して頂きたいものと願っています。

確かに中期経営計画では年次毎の数値目標として単年度の赤字削減額が提示されています。恐らく評価にはこの数字の達成度が考慮される可能性があります。この目標達成のためには収益を確保し経費を節減する努力が必要でしょう。入院単価を上げ高加算が見込める施設基準を満たす努力も必要でしょう。しかしながら、金銭面ばかりに捕らわれて本来あるべき「医療」の本質を見失ってしまつては本末転倒です。医療者は本質的に患者さんのために地域のために役立ちたいという気持ちを持っており、自身のスキルアップのためとその気持ちがあれば、過酷な労働条件下でもやる気が出るものです。しかし利潤の追求のために過酷な労働条件で働かされているという気持ちになれば、医療に対するモチベーションは失われてしまいます。日南病院が地域の中核病院として存在する意義、地域における公立病院の役割、地域が必要としている医療のあり方などを含めて論議を深めて頂きたいと思います。

中国文学者の守屋洋氏によれば、「論語」の中に「利を見ては義を思う」という言葉があるそうです。利益を追求するときには、常に「義」（正しい道、あるべき道）を念頭に置いて、義を踏み外さないようにして欲しいというのだそうです。県議会の生活福祉常任委員会の席上、委員の県議の方々より、「拙速に黒字化を図るのではなく、不採算部門も含めて地域に貢献して欲しい」との思いがけない言葉を頂戴し、有り難く、また心強く思った次第です。

